

# 市議会だより

大雨災害の対応と対策は？  
放射能汚染への対応は？



議員紹介、議員名簿	2～5
9月定例会、決算審査特別委員会報告	6～13
10月臨時議会報告	25
市民と議員の懇談会のおしらせ	26
市民の声	28

平成25年11月30日







一関市立夫原保育園

一般質問 ここが聞きたい ……14～24ページ  
議員20名が市政を問う!

# 一関市議会議員30人の顔ぶれ



平成25年9月29日に一関市議会議員選挙が行われ、  
30人が一関市議会議員に選ばれました。  
任期は平成25年10月9日から平成29年10月8日までの4年間となります。






①議席番号 ②氏名 ③所属会派 ④自宅住所 ⑤電話番号

 ①議席番号 24 ②佐藤弘征 ③新政会 ④巖美町字駒形148番地 ⑤39-2316	 ①議席番号 23 ②榎山 隆 ③関新会 ④巖美町字八幡29番地 ⑤39-2215	 ①議席番号 22 ②岩 淵 一 司 ③関新会 ④室根町矢越字湯舟82番地 ⑤64-3690	 ①議席番号 21 ②石 山 健 ③日本共産党一関市議団 ④花泉町永井字九千沢256番地 ⑤84-2052	 ①議席番号 20 ②千 田 恭 平 ③緑清会 ④千厩町千厩字町176番地 ⑤52-3182	 ①議席番号 19 ②千 葉 満 ③緑清会 ④大東町大原字一ノ通33番地 ⑤72-3620
--	---	--	---	---	---

 ①議席番号 30 ②千 葉 大 作 ③会派に属さない ④萩荘字戸ノ口60番地 ⑤38-2066	 ①議席番号 29 ②小 山 雄 幸 ③緑清会 ④室根町折壁字中里105番地 ⑤64-2564	 ①議席番号 28 ②佐 藤 雅 子 ③緑清会 ④東山町長坂字町322番地 ⑤47-2020	 ①議席番号 27 ②菅 原 啓 祐 ③新政会 ④舞川字梅木16番地 ⑤28-2402	 ①議席番号 26 ②佐 々 木 清 志 ③新政会 ④花泉町金沢字中屋敷40番地 ⑤82-1439	 ①議席番号 25 ②武 田 ユキ子 ③新政会 ④字宇南20番地2 ⑤23-2634
--	---	--	---	--	--

 ①議席番号 6 ②及 川 忠 之 ③会派に属さない ④大東町鳥海字西小森60番地 ⑤74-3048	 ①議席番号 5 ②岩 淵 優 ③公明党 ④藤沢町増沢字畑119番地 ⑤48-3310	 ①議席番号 4 ②小 岩 寿 一 ③公明党 ④萩荘字上要害121番地 ⑤29-2663	 ①議席番号 3 ②佐 々 木 賢 治 ③関新会 ④東山町長坂字町101番地 ⑤47-2348	 ①議席番号 2 ②菅 野 恒 信 ③日本共産党一関市議団 ④真柴字宮沢60番地14 ⑤26-3445	 ①議席番号 1 ②岡 田 もとみ ③日本共産党一関市議団 ④滝沢字鶴ヶ沢63番地18 ⑤78-0963
--	---	--	---	---	--

 ①議席番号 12 ②藤 野 秋 男 ③日本共産党一関市議団 ④千厩町奥玉字萱刈場63番地4 ⑤56-2807	 ①議席番号 11 ②菊 地 善 孝 ③日本共産党一関市議団 ④大東町猿沢字志田山185番地 ⑤75-3332	 ①議席番号 10 ②沼 倉 憲 二 ③緑清会 ④藤沢町大籠字上野49番地 ⑤62-2324	 ①議席番号 9 ②勝 浦 伸 行 ③緑清会 ④狐禅寺字宇南22番地8 ⑤23-5143	 ①議席番号 8 ②佐 藤 浩 ③緑清会 ④赤茨字槻木41番地1 ⑤25-5025	 ①議席番号 7 ②那 須 茂 一 郎 ③会派に属さない ④大東町掘沢字上堺ノ沢137番地12 ⑤75-3446
---	---	--	--	---	--

 ①議席番号 18 ②小 野 寺 道 雄 ③緑清会 ④山目町三丁目8番19号 ⑤23-2778	 ①議席番号 17 ②千 葉 幸 男 ③新政会 ④花泉町涌津字二ツ樋51番地2 ⑤82-3570	 ①議席番号 16 ②岩 淵 善 朗 ③新政会 ④大東町首慶字神蔭38番地7 ⑤75-4411	 ①議席番号 15 ②金 野 盛 志 ③新政会 ④千厩町奥玉字茶名畑43番地1 ⑤56-2711	 ①議席番号 14 ②千 葉 信 吉 ③新政会 ④字二本木18番地3 ⑤21-0963	 ①議席番号 13 ②橋 本 周 一 ③関新会 ④藤沢町藤沢字八沢220番地 ⑤63-2291
---	--	---	--	---	---

## 議長就任挨拶

千葉 大作

このたびの一関市議会議員改選に伴い、議長選挙に臨み、一関市議会の大役を担うことになりましたが、その責任の重さに身の引き締まる思いであり、全身全霊を賭して精進して参る覚悟であります。

当市の直面する課題は、放射能汚染への対策であり、議会としても特別委員会を設置し対応して参ります。

また、国際リニアコライダ―につきましても、国際プロジェクトであり、当市にぜひ実現するため、議会一丸となって誘致活動を推進して参ります。

そのためには、議会と行政が緊張感を保ちながら、一関市の課題解決に向けて車の両輪の如く一体となって邁進して参ります。

また、今後の議会運営におきましては、市民に開かれた議会を目指し、議会基本条例の見直しなど、議会改革につきましても積極的に推進して参りますので、市民皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まして就任の挨拶と致します。

## 副議長就任挨拶

小山 雄 幸

このたびの市議会議員改選に伴い、議員各位のご推挙をいただき副議長に選ばれましたことは、この上ない光栄と存じますとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。

今、当市は原子力発電所事故による放射能汚染や少子高齢化対策が大きな課題となっております。議会としても、不安解消や支援に向けて取り組んで参ります。

また、国際リニアコライダ―支援やこのプロジェクトを見据えた国際化に対応して参ります。

議会は当局に対する監視役として市民の皆様方のご意見をいただきながら、是々非々の立場で臨んで参ります。

さらに、千葉大作議長と共にさらなる議会改革を推進してまいりますので、市民皆様方のより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。まして就任の挨拶と致します。

# 議会運営委員会・常任委員会等名簿

◎委員長 ○副委員長

## 議会運営委員会

(定員15人以内)

- ◎沼倉 憲二
- 金野 盛志
- 岩 淵 伸 優
- 勝 浦 伸 行
- 菊 地 善 孝
- 槻 山 隆 志
- 佐々木 清 志

※議長が議長職に専念するため常任委員を辞任しています。

## 産業経済常任委員会

(定員7人)

- ◎勝 浦 伸 行
- 藤 野 秋 男
- 小 岩 寿 一
- 橋 本 周 一
- 金 野 盛 志
- 佐 藤 弘 幸
- 小 山 雄 幸

## 教育民生常任委員会

(定員8人)

- ◎佐々木 賢 治
- 武 田 ユキ子
- 岡 田 もとみ
- 菅 野 恒 信
- 那 須 茂 一 郎
- 佐 藤 浩 朗
- 岩 淵 善 孝
- 小 野 寺 道 雄

## 一関市議会報編集特別委員会

(定員8人)

- ◎橋 本 周一
- 千 葉 信 吉
- 菅 野 恒 信
- 小 岩 寿 一
- 那 須 茂 一 郎
- 佐 藤 浩 朗
- 金 野 盛 志
- 千 葉 満

## 特別委員会

平成25年10月18日設置

## 一関市政調査会

委員は議員全員

## 常任委員会

総務常任委員会(定員8人) 文員1人

- ◎千 田 恭 平
- 槻 山 隆 志
- 及 川 忠 之

## 建設常任委員会

(定員7人)

- 岩 淵 善 孝
- 小 野 寺 道 雄

## 治水対策特別委員会

(定員11人)

- ◎菅 原 啓 祐
- 岩 淵 一 司
- 岡 田 もとみ
- 佐々木 賢 治
- 岩 淵 伸 優
- 那 須 茂 一 郎
- 岩 淵 善 孝
- 千 葉 満
- 小 野 寺 道 雄
- 佐 藤 浩 朗
- 菊 地 善 孝
- 金 野 盛 志

## 各委員会紹介

### 議会運営委員会

議会運営委員会とは、定例会・臨時会において会期の調整や日程事項の調整など議会の運営を円滑にすることを目的として、議会運営の全般について協議、意見調整を図るために設けられる常設の機関です。

### 常任委員会

常任委員会とは、地方公共団体の事務全体を建設部門や厚生部門などに適宜区分けし、その区分けした部門ごとの事務に対し、自主的に調査をしたり、議会から審査を任された条例などの議案や住民から提出された請願などを審査したりするために常設する委員会をいいます。

### 特別委員会

特別委員会とは、常任委員会及び議会運営委員会のほかに、特定事件を審査するために設置された委員会をいいます。現在、一関市議会の特別委員会は、議会報編集特別委員会、治水対策特別委員会、放射能被害対策特別委員会の3つの特別委員会があります。

## 放射能被害対策特別委員会

(議員全員30人)

- ◎金 野 盛 志
- 菊 地 善 孝

## 一関市議会各派別議員名簿

平成25年10月15日現在

### 会派紹介

会派とは、主義・主張を同じくする人々が結成した団体のことをいいます。地方議会内で、活動を共にしようとする議員の団体です。  
◎会派の代表者 △経理責任者

## 公明党

会派控室：第7

内線電話：8611

- ◎岩 淵 伸 優
- △小 岩 寿 一

## 緑清会

会派控室：第3

内線電話：8606

- ◎沼 倉 憲 二
- △佐 藤 浩
- 小 野 寺 道 雄
- 勝 浦 伸 行
- 佐 藤 雅 子
- 小 山 雄 幸
- 千 葉 満
- 千 田 恭 平

## 日本共産党一関市議団

会派控室：第1

内線電話：8603

- ◎菊 地 善 孝
- △岡 田 もとみ
- 藤 野 秋 男
- 石 山 健
- 菅 野 恒 信

## 新社会

会派控室：第2

内線電話：8605

- ◎佐 々 木 清 志
- △武 田 ユキ子
- 菅 原 啓 祐
- 佐 藤 弘 征
- 岩 淵 善 朗
- 千 葉 幸 男
- 千 葉 信 吉
- 金 野 盛 志

## 関新会

会派控室：第4・5議

内線電話：8607

- ◎槻 山 隆 志
- △橋 本 周一
- 岩 淵 一 司
- 佐 々 木 賢 治

## 会派に属さない議員

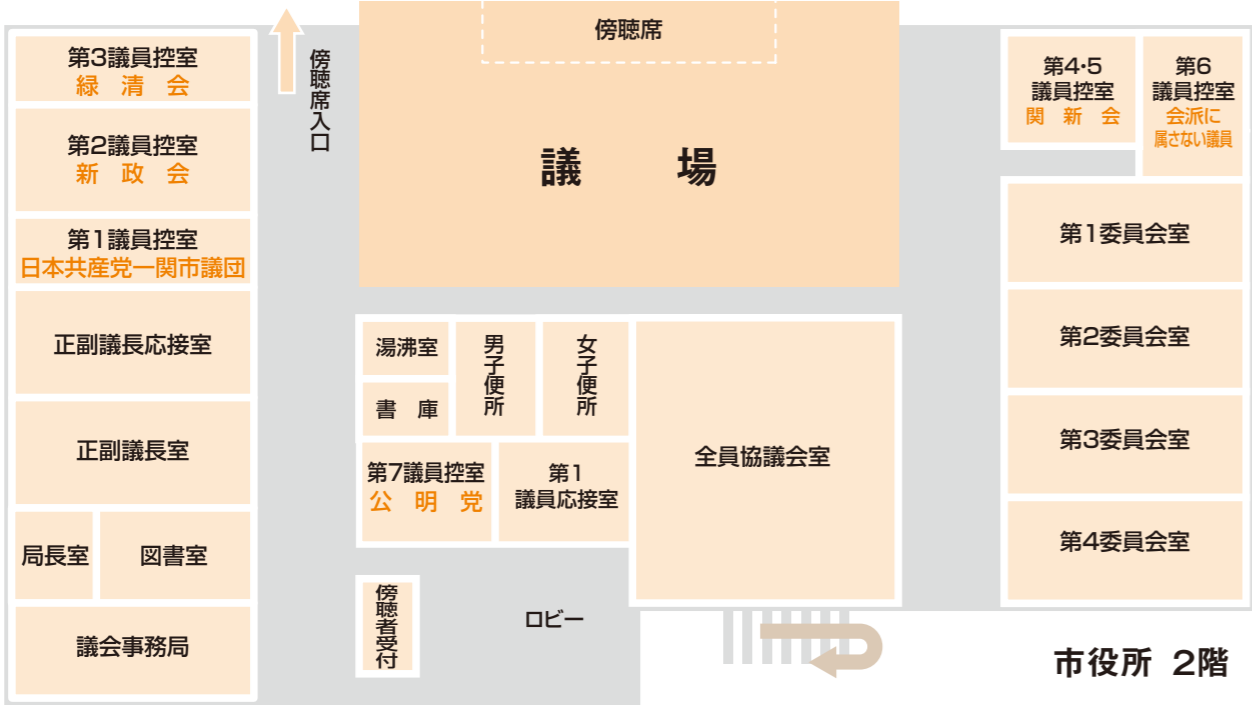
控室：第6

内線電話：8609

- 那 須 茂 一 郎
- 及 川 忠 之
- 千 葉 大 作

※名簿は会派届順による

## 配置図



## 一関市議会 議席表

21 石山 健	22 岩淵 一司	23 槻山 隆	24 佐藤 弘征	25 武田ユキ子	26 佐々木清志	27 菅原 啓祐	28 佐藤 雅子	29 小山 雄幸	30 千葉 大作
11 菊地 善孝	12 藤野 秋男	13 橋本 周一	14 千葉 信吉	15 金野 盛志	16 岩淵 善朗	17 千葉 幸男	18 小野寺道雄	19 千葉 満	20 千田 恭平
1 岡田もとみ	2 菅野 恒信	3 佐々木賢治	4 小岩 寿一	5 岩淵 伸 優	6 及川 忠之	7 那須茂一郎	8 佐藤 浩	9 勝浦 伸行	10 沼倉 憲二

# 755億円を認定

## はいかに！！

# 一般会計

## 7.26豪雨対策

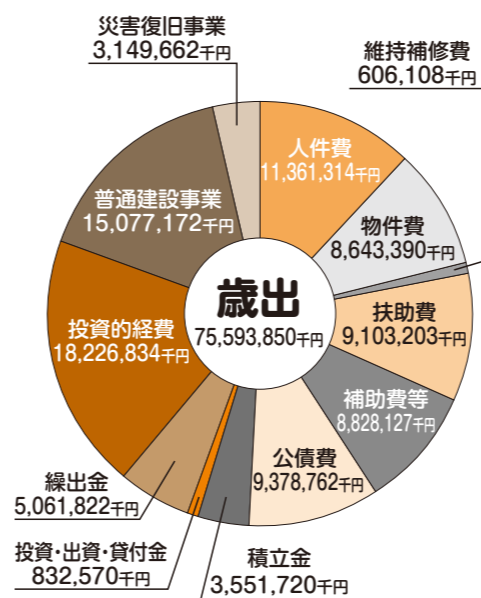
9月定例会

### 平成24年度 主な事業

市民生活のため、平成24年度に行われた事業のうち、主なものについて掲載しています。

事業名	決算額	主な内容
テレビ難視聴地区解消事業費	1億2,672万円	ギャップフィルターの整備、共同受信施設のデジタル化改修
コミュニティFM情報配信事業費	1億5,338万円	コミュニティFMが市内全域で受信可能となるよう新たな中継局の整備、専用ラジオの配布
市民協働推進事業費	1億2,383万円	地域おこし事業、自治会活動費、地域協働体支援事業の補助
自立支援給付費	23億6,498万円	障がい者の医療・介護費用の補助、車いすや義足等の補装具給付
扶助費（生活保護費分）	14億746万円	生活保護世帯への生活扶助や住宅扶助等
放課後児童健全育成事業費	1億3,062万円	留守家庭児童の保護育成
放射線対策事業費	6億6,147万円	空間放射線量の測定、放射線低減対策
震災等緊急雇用対応事業費	7億9,145万円	東日大震災における被災求職者へ雇用の創出
大東小学校整備事業費	11億3,915万円	平成25年度開校の大東小学校校舎建設工事

### 24年度一般会計歳出内訳 (性質別)



平成25年度9月定例会は、市長、市議会議員選挙の関係から例年より早い8月19日～9月6日に開催されました。

9月定例会は、決算議会とも言われ、前年度の決算を中心とした審議が行われました。

一般質問は、20名の議員が登壇しました。（詳細は15ページ～24ページ）

さらに、決算審査特別委員会を設置し、委員長に千田恭平、副委員長に須藤節男を選出し、8月26日～27日に総括質疑、8月28日～29日には常任委員会単位に設置した分科会で、審議を行いました。（分科会審議内容は11ページ～12ページ）

### 9月定例会のあらまし

# 議案審査

- 【専決処分報告】 6件
- 請負変更契約（二関図書館1件）
- 職員交通事故（物損）2件
- 物品の破損1件
- 平成25年度一般会計補正予算（災害関係）2件
- 【条例制定】 一関市子ども・子育て会議条例（国の制度）
- 【条例改正】 3件
- 一関市花泉総合福祉センター条例の一部を改正する条例

- 一関市川崎農村研修センター条例の一部を改正する条例
- 一関市特区别職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 【補正予算】 7件
- 平成25年度一関市一般会計補正予算（第6号、第7号）
- 平成25年度一関市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 平成25年度一関市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成25年度一関市物品調達特別会計補正予算（第1号）
- 平成25年度一関市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成25年度一関市水道事業会計補正予算（第2号）

工 事 名	金額(千円)	契 約 者	備 考
山目小校舎建設（建築）	1,291,500	(株)佐々木組	6,950㎡
山目小校舎建設（電気設備）	160,020	(株)電友社一関営業所	
山目小校舎建設（機械設備）	241,500	(株)小野寺設備	
磐井中校舎建設（建築）	819,000	(株)佐々木組	4,663㎡
磐井中校舎建設（電気設備）	153,825	(株)アイデン	
磐井中校舎建設（機械設備）	262,500	(株)永沢水道工業	
永井公民館建設（建築）	159,600	(株)三ツ矢建設工業	852㎡
遊水地記念緑地公園多目的広場整備工事	208,850	(株)平野組	

【請負契約締結】 8件

【請負契約変更】 2件

新一関図書館建設（建築）及び電気工事について資材高騰などのため請負契約の変更である。

【協定締結】 1件

○定住自立圏形成協定  
国の制度制定を受け、生活機能の強化などの分野において、平泉町と協定の締結を行う内容で、国の財政的な支援がある。

【市道認定、廃止及び変更】

○認定4件

- ・山谷平泉線
- ・有壁沢穴ノ沢線
- ・馬骨峠沢線
- ・中前田野4号線

○廃止1件

- ・深堀外ノ目谷起線

○変更4件

- ・木ノ川線（起点変更）
- ・水口1号（終点変更）
- ・上本郷析倉線↓南沢下宇津野線（路線名、起点、終点変更）
- ・町裏深堀線（終点変更）

【財産の減額貸付】 1件

旧ソニー後地（工場、土地）については、市に



寄付となり、(株)千厩マラソンツに引き続き貸付を行う。

【人事】 人権擁護委員として千厩町奥玉大場浩俊氏を推薦。



大場 浩俊 氏

【請願】 『公的年金2.5%の削減中止の意見書の提出を求める請願』は不採

【意見書】

項 目	提出者	可否
「地方税財源の充実確保」を求める意見書	海野 正之	採 択
平成25年7月26日からの大 雨被害の早期調査及び検証 を求める意見書	岩瀬 善朗	採 択
被災地の医療・介護保険利 用料の免除措置の継続を求 める意見書	藤野 秋男	採 択

# 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、各分科会を含め6日間にわたって開催し、「平成24年度一関市一般会計決算」ほか、決算関係等の議案の審査を行いました。

## 決算審査特別委員会

委員長 千田 恭平

8月19日の本会議において決算審査特別委員会が設置され、「平成24年度一関市一般会計歳入歳出決算について」ほか19件の審査を付託されました。同日、正副委員長の互選を行い、委員長に私が、副委員長には須藤節男議員が選任されました。その後、関係各部長から補足説明を受けまし

た。8月26日、27日には総括質疑を行い、13名の議員が質問に立ちました。その後、決算の審査については内容が膨大であるため、議案を所管する4つの常任委員会単位の分科会を設置し、その分科会に分割付託しました。

8月28日、29日には各分科会を開催し、9月4日の特別委員会において、各分科会における審査の報告を

求めました。各分科委員長の報告を待つて特別委員会としての結論を得るため採決しました。

その結果、一般会計歳入歳出決算の認定、国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定の3件は賛成多数で、他の17件は満場認定すべきものと決しました。（議員個人の賛成反対については13ページ表決の分かれた案件に掲載）

以上を受け、9月6日の本会議において審査経過と結果を報告し、その際、「指定管理団体から提出された事業計画及び事業実績などについて、所管の常任委員会から求められた場合は速やかに提供されるよう望む」との要望があった旨を伝えました。



# 9月総括質疑

8月26日(27日)に総括質疑を行い、菊地善孝、岡田もとみ、石山健、藤野秋男(以上、日本共産党二関市議団)、岩淵善朗、須藤節男、金野盛志、武田ユキ子、佐藤弘征、及川文彦(以上、「新会」)、岩淵優、沼倉憲二、及川忠之(以上、会派に属さない議員)の13名が質疑を行った。主な質疑は次の通りです。

## 【学校給食費の収納状況は】

平成24年度の調定額は5億343万円余に対して収入済額は5億170万円で、172万円の収入未済となっている。過年度分は、平成20年度(平成23年度分)は250万円の収入未済、平成19年度以前は、685万円の収入未済があり、公平性の観点から今後も収納に努力していく。

## 【テレビ難視聴の対策は】

平成24年度は、ギャップファイラーを花泉1基、千厩10基整備し、80世帯の難視聴を解消した。加えて、4つの共同受信組合で17世帯に対応した。このほか戸別の高性能アンテナで、440世帯に対応した。今後も継続して約640世帯へ対応するが、それでも約100世帯の難視聴が想定される。今後とも全世帯で視聴が可能となるよう国に要望していく。

## 【防災情報無線のなかで、戸別受信機が廃止となる大東、東山、川崎の対応は】

防災行政情報システムとして、屋外マストで対応する。既存の249本と新設の106本、計355本であり、屋外マストとFMラジオの特性を効果的に活用していく。屋外マストの難聴地域には、角度や方向、音量などを調整して対応する。

## 【非常時のFMラジオの自動起動の判断、基準は】

自動起動については、2月3日に訓練を実施した。緊急時の対応についてはFMあすもとマニュアルを策定し、震度4以上の地震などの場合、割り込み放送を行っている。災害、非常時にはFMラジオが最も有効

## 【放課後児童クラブの状況は】

平成24年度には17クラブを運営している。設置基準は利用登録人数が5人以上で、開設日が年間200日以上となっている。加えて、そのクラブを運営可能な組織設立が条件となる。



ラジオ(FMあすも)には常に電源を

な情報伝達手段であり、市民の生命や財産を守るため、事案により、適切に対応をしていく。

現在のクラブ数は小学校の約半分であり、今後もニーズを調査して適切に対応していく。

## 【自主防災組織の状況は】

平成25年8月1日現在で市内450行政区のうち405行政区で組織化されている。地域別では、花泉、千厩、東山、室根、川崎及び藤沢では100%であるが、一関は80%、大東では82%の組織化にとどまっており、今後も全地域の組織

化に努力していく。

## 【市職員数等の適正な管理は】

平成20年度には、合併後の定員適正化計画により、計画を1422人とした。そして、その実績は1429人であった。その後、藤沢町との合併もあり、平成27年度の計画職員数は1419人としている。今後も行政サービスの質や量を見極め、効率的な行政運営に努めていく。



関が丘5民区自主防災組織の訓練

## 総務分科会

委員長 佐々木清志

### ●今後の財政見直し・市民への説明は。

市民への説明責任は重要と認識しており、交付税が今後減っていくこと等、合併から10年後の一本算定に向けて減額する状況、市全体の財政状況について可能な限り説明していきたい。

### ●平成24年度不能欠損額が増えている理由は。

3〜4年前に事業所の倒産等があり、その精算・法的措置が終わり、24年度に処理したのが主な理由である。

### ●市職員の時間外勤務と健康管理は。

23年の震災時対比、24年度は相対的には減っているが、部署によっては減らない状況もあり、繁忙期には、係や課内で協力体制をとおり、一人に仕事が集まらないよう管理職の時間外マニュアルを作成して徹底を図っている。3カ月間100時間を超えた職員には必ず産業医との面談で指導を受けるようにしている。

メンタルの病休の職員は減っているが3人が長期の病休をとって



## 産業経済分科会

委員長 千葉 大作

### ●緊急雇用対策の成果及び事業継続は。

24年度実施の雇用対策で雇用された方は570名ほどおり、事業終了後の就労については調査していないが、再度、雇用されている場合もある。また、事業の継続については県や国に要望している。

### ●空き店舗入居支援事業の成果は。また、制度の拡充の必要性はないか。

予算では5店舗で500万円を計画していたが、実績は2件で200万円となっている。また、ここ数年の実績は2〜3件であり、その対象範囲、場所等についても拡充の要望があることから、現在、庁内で検討している。

### ●企業誘致への取り組み状況は。

市内の企業については100社を訪問し、様々な情報交換を行っている。また、市外については約30社にアプローチをしている。

### ●市単独事業の農村地域活性化モデル支援事業の成果は。

地域の活性化を図ることを目的に平成22年度から実施しており、22年度から24年度は12地域の計画

に対して11地区で取り組んでいるが、その成果は、この事業は4年間の継続制度であり、最終的には、事業完了後の検証となる。

### ●畦畔草の処理、焼却についての指導は。

草を焼却すると、灰が高濃度になる。なお、その科学的なメカニズムも明らかでないことから、引き続き焼却の自粛をお願いしたいと考えているが、その周知は検討する。

### ●農地集積協力の扱いは。

この集積に破たんが生じた場合(集積が継続不可)は、その受領した補助金は、返還の対応となる。従って、集積者が個人である場合は注意が必要と考える。

### ●松くい虫対策は

全ての松の防除はできない状況であるが、銘木等については、継続して防除を行う。

なお、松くいになったものについては、可能な限り、その処理を行っていく。



# 市政課題で活発な論戦

第44回定例会の一般質問は、8月21日、22日、23日の3日間、20人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。なお、内容については、各議員の文責であります。

## 8月21日(水)

岡田もとみ 議員

1. 保育園の待機児童解消策について
2. 生活保護引き下げに伴う影響と対策について
3. 小規模団地への支援策について

勝浦 伸行 議員

1. 災害・防災について
2. 協働のまちづくりについて

那須茂一郎 議員

1. 7月26日の大雨被害の対策について
2. 有害獣の駆除対策について
3. 子宮頸がんワクチン接種の再検討について
4. 汚染牧草を焼却しないで処理する方法は考えられないか

橋本 周一 議員

1. 放射能問題について
2. 国際リニアコライダー（ILC）について
3. 農業振興対策について（地域農業の振興）

岩淵 善朗 議員

1. 7.26豪雨災害と治水対策を問う

菊地 善孝 議員

1. 大雨災害検証と復旧策について
2. 違法な税務行政から民主的な税務行政へ転換を

千田 恭平 議員

1. 協働のまちづくりと市立公民館の運営について
2. 人口減少への対策について

## 8月22日(木)

沼倉 憲二 議員

1. 林業振興について
2. 道路整備について
3. 下水道整備について
4. 廃校となった学校の活用について

阿部 孝志 議員

1. 大雨災害対応について
2. 主要地方道花泉藤沢線改良計画について

海野 正之 議員

1. 薄衣堤防改修の見通しについて
2. 旧門崎小学校の活用について

8月	9月	10月
2日 議員全員協議会	4日 決算審査特別委員会 (分科会)	9日 議員協議会
6日 災害対策特別委員会 緊急雇用対策特別委員会 議会運営委員会	5日 議会運営委員会 議会委員報告会	11日 会派代表者等会議 本会議
19日 決算審査特別委員会 本会議	6日 議会委員報告会 本会議	15日 会派代表者等会議 議員全員協議会
22日 本会議(一般質問)	7日 総務常任委員会 産業経済常任委員会 建設常任委員会 教育民生常任委員会 議会運営委員会 政治倫理審査会	16日 議員全員協議会 市政調査会
23日 本会議(一般質問)	8日 決算審査特別委員会 (総括質疑)	18日 市政調査会役員会 議会報編集特別委員会 本会議
26日 治水対策特別委員会 決算審査特別委員会 (総括質疑)	9日 決算審査特別委員会 (分科会)	
27日 決算審査特別委員会 (総括質疑)	10日 決算審査特別委員会 (分科会)	
28日 決算審査特別委員会 (分科会)		
29日 決算審査特別委員会 (分科会)		

議会  
会  
日  
誌

- 保育園の待機児童解消策は
- 生活保護基準引き下げに伴う影響と対策は
- 小規模団地への支援策について



岡田もとみ 議員

**答弁** 基本的には制度的なものだが、5歳児については就学前保育を保障すべきではないか。

**質問** 第2子ができて産休に入ると、就園していた上の子も待機にさせられるが一人ひとりの保育を保障すべきではないか。

**答弁** 公立保育園で5名の保育士が必要になる。

**質問** 保育士確保のためには正規職員として雇用することが保育士の他の職種への流出を防ぎ、定着率を高めるものにつながる。待機児童をなくすための保育士は何人必要と考えているのか。

**質問** 保育士不足のため、定員に満たない園がある。保育の権利を保障するのが自治体の責任、その要因をどうとらえているのか。

**答弁** 定員まで受け入れができていない保育園は公立で7園。要因は、通勤距離や勤務時間などが募集の際の勤務条件と合致しないこと。当面、公立保育園では、勤務条件のミスマッチを解消する対応を行う。私立保育園には、保育士の処遇改善に対する補助を行う。

**質問** 保育士確保のためには正規職員として雇用することが保育士の他の職種への流出を防ぎ、定着率を高めるものにつながる。待機児童をなくすための保育士は何人必要と考えているのか。

**答弁** 民間の造成宅地内の維持補修は、所有者、使用者の維持管理を原則としていることから、補助等の支援策は考えていない。

**質問** 20年を経過する民間団地では、すでに開発業者が存在せず、その当時、開発の規制がなかったために砂利道や排水などの生活環境に支障が出ている。支援策を講じるべきではないか。

**答弁** 公共性の高い民道に支援を

**質問** 安倍政権による生活保護基準の引き下げは、憲法で保障された最低水準を引き下げたものであり、市民生活は苦しくなる一方、生活保護法の目的に見合った対応をしていただけない。

**答弁** 夫婦と子供2人の世帯では月額2万6千円の減額となる。生活相談の制度は法定受託事務で、市として額を上下できる性格のものではない。

**質問** 生活保護法の目的に沿った対応を

- 防災ラジオとしてのFMあすもについて
- 屋外マスト（防災行政無線）について



勝浦のぶゆき 伸行 議員

**答弁** 音楽番組などの通常番組に割り込んでの放送であったことから、断続的な災害対策が必要な状況下としては、災害情報を確認しにくかった面もあり、情報伝達の迅速性を考慮しても災害情報に限った放送を行うべきだった。今後の対応として、音楽番組などの通常番組に

**質問** 災害時に本当に役立つラジオとするため、行政・消防・警察・国土交通省などからの情報を受け、的確に、かつ、いつから災害情報をお伝えしますというように、聞いていてわかるような放送が必要であり、そうしなければ、災害時に本当に役に立つラジオにならないのではないか。

**答弁** 音楽番組などの通常番組に割り込んでの放送であったことから、断続的な災害対策が必要な状況下としては、災害情報を確認しにくかった面もあり、情報伝達の迅速性を考慮しても災害情報に限った放送を行うべきだった。今後の対応として、音楽番組などの通常番組に

**質問** FMあすもの災害時の対応は

**質問** 7月26日に一関・両磐地域に大雨洪水警報が発令された際、FMあすもは、防災ラジオとしてどのような役割を担い、災害時の対応を行ったのか伺う。

**答弁** 災害警戒本部を設置した時点でのその旨を放送し、以降、大雨に関する注意喚起情報を断続的に通常放送に割り込み、放送を行った。

**質問** 災害時に本当に役立つラジオとするため、行政・消防・警察・国土交通省などからの情報を受け、的確に、かつ、いつから災害情報をお伝えしますというように、聞いていてわかるような放送が必要であり、そうしなければ、災害時に本当に役に立つラジオにならないのではないか。

**答弁** 川崎町では、防災行政無線で情報提供を行っているが、一関地域においては防災行政無線の設置はしておらず、緊急消防システムで対応している。内容が限られるため、今後は、現在整備中の防災行政情報システムに切り替えることにより、緊急情報、行政情報を提供する。

**質問** 川崎町の対岸の弥栄地区は、7月の水害において、水田の冠水や土砂崩れ、道路の決壊など大きな被害が発生した。この地域は北上川の水位情報が非常に重要な場所である。今回の増水時には、耳をそばだてて川崎町の防災無線から流れる情報を聞いていたと聞きすが、この地域の今後の整備は。

**答弁** 川崎町では、防災行政無線で情報提供を行っているが、一関地域においては防災行政無線の設置はしておらず、緊急消防システムで対応している。内容が限られるため、今後は、現在整備中の防災行政情報システムに切り替えることにより、緊急情報、行政情報を提供する。

割り込む形でなく、場合によっては災害情報だけの放送を行う検討、災害対策本部を設置した場合には、通常番組を中断して、臨時災害番組を立ち上げ、被害状況や注意喚起、避難準備などの災害情報を専門に市民にお知らせする方向で、FMあすもと協議を進めている。

**質問** 屋外防災マストの整備について

**質問** 川崎町の対岸の弥栄地区は、7月の水害において、水田の冠水や土砂崩れ、道路の決壊など大きな被害が発生した。この地域は北上川の水位情報が非常に重要な場所である。今回の増水時には、耳をそばだてて川崎町の防災無線から流れる情報を聞いていたと聞きすが、この地域の今後の整備は。



○7月26日の大雨被害の対策について  
○子宮頸がんワクチン接種の再検討について



那須茂一郎 議員

七月の大雨被害の対策を

【質問】 午後から急に振り出した雨が、11年前の台風の災害を上回る被害を引き起こした。門口道路が流失したり、木が倒れて住宅に出入りができなくとも個人対応と言われ、応急措置さえしてもらえず、何日も車の出入りができない家が続き出した。対応をお願いすると、市道は近いうちに対応するが、私道なら個人対応とのことであった。被災し、途方にくれた住民の方も多かったと思う。

【質問】 旧大東町時代は、災害において応急対応はきちんとしてくれたし、宅地や、門口道路に対しても、補助制度があった。今回の災害においてもそのくらいの対応策は必要だと思う。

【質問】 また、13万円以下の農地災害、被災者に対する、固定資産税等の減免はどのように考えているか。

【質問】 市民が困ったとき、相談して頼れる市政、それが最も大切なことではないか。

【質問】 今回の大雨により個人の宅地などに、土砂が流入したり地盤が侵食されるなどの被害が

【質問】 砂鉄川上流部では、大きな被害が生じた。被害状況と復旧の状況を伺う。

【質問】 被害状況は重軽傷者2名、住宅被害は全壊2棟、一部損壊1棟、床上浸水86棟、床上浸水140棟、国道25カ所、市道1340カ所、河川被害440カ所、農作物被害301ヘクタール、農地・農業施設等が2723カ所、水道施設24カ所、断水993世帯などとなっている。

【質問】 主な復旧状況は、8月15日現在で住宅の床上床下浸水によるごみ処理、し尿処理、消毒作業が終了。水道は全世帯に通水が完了。市道66カ所が復旧し、通行止めは6カ所。農業被害は、緊急対応を行うとともに、調査中。

【質問】 宅地や門口の土砂の流出等の被害も甚大だ。先の内陸地震、3・11東日本大震災並みの手厚い市独自の災害対策が必要だ。

【質問】 個人の宅地などで被害が多数発生、二次災害の恐れもある。また農地・農業用被害で

多数発生した。

【質問】 このような被害に対しては、東日本大震災で被災した方々に設けた、生活再建住宅再建支援事業補助制度の内容に準じた、市独自の制度の創設を検討するよう指示した。

【質問】 農地の被害、1460カ所に ついは、激甚災害に指定され、市独自の制度も導入して、支援して行く。

【質問】 被災者に対する税の減免は、市民税・国保税は第2期以降が、固定資産税においては3期以降が対象となる。

【質問】 子宮頸がんワクチン接種を再検討すべきでないか。

【質問】 市は平成23年2月から希望者に実施してきた。因果関係が不明ながら、重篤な副反応の報告もある。より明らかにするまでの間、積極的に勧奨しないようにという勧告を出した。現在のところ一関市内では重篤な副反応の報告はない。

【質問】 がんの予防ということ

【質問】 がんの予防ということ

【質問】 がんの予防ということ

【質問】 がんの予防ということ

【質問】 がんの予防ということ



大雨災害で崩れた土手

【質問】 は、事業費13万円未満の小規模災害と共に市独自の支援制度の検討を指示した。

【質問】 平成14年の水害と酷似している。抜本的な対策が必要だ。

【質問】 被災箇所は、多くが県管理だ。当面の応急対策と、被害の要因の速やかな調査・検証と、恒久的、抜本的対策を強く要望した。

【質問】 各防災機関の情報の伝達手段であるFMアースも機能しなかった。活用が課題だ。

【質問】 FMアースも緊急放送を行わなかった。災害対策本部を設置した場合は臨時災害番組を立ち上げ、被害状況や注意喚起、避難準備などの災害情報を専門に市民に知らせよう。具体の協議を進めている。

○7.26豪雨災害と治水対策を問う



岩瀬 善朗 議員

【質問】 砂鉄川全体の水害を問う

○砂鉄川全体の治水計画の策定を  
○民主的な税務行政への転換を



菊地 善孝 議員

【質問】 砂鉄川全体の治水計画の策定を問う

【質問】 民主的な税務行政への転換を問う

【質問】 学校給食食材の放射性物質濃度の測定実績と結果の公表の仕方はどうだったか。保護者の不安解消につながっているか。

【質問】 食材は全品目を使用する前に測定、給食は提供済みの丸ごと1食を週1回測定しているが、ほとんどが不検出。測定結果の公表について、PTAの方々からも不安が解消され大変好評を得ている。

【質問】 汚染牧草は基準値が引き下げられたことにより、新たな量の焼却を行う計画が出ているが、今後の処分の考え方は。

【質問】 汚染牧草の一時保管施設は、設置場所が決定し、今後順調に進むものと見込んでおり、完成後は保有農家の協力を得、牧草の搬入を進めていく。現在、一般ごみと混焼しその焼却灰を最終処分場に埋め立てているが、今後5年を目途に処理を終了させたいと考えている。

【質問】 研究者によるILC立地評価会議が、8月23日に候補地を発表するという報道もあったが、現在の状況について伺う。

【質問】 規模が大きい個人農家や集落営農組織、農業生産法人が地域農業の担い手となることにより、後継者の育成や新規就農者の確保につながるよう取り組んでいる。

【質問】 担い手の育成支援について、どのような支援を検討しているか。

【質問】 恒久的・抜本的な治水対策を要望したところでもある。

【質問】 私どもは昨年12月議会以来、所得が低迷するなか国庫負担が従来の半分以上に削減された結果、関係市民が納められない国保となっていること、市当局がもつぱら徴収強化のみで対応していることから生じる問題を指摘し改善を求めた。

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は

【質問】 徴収猶予申請数、額の実績は



清田小学校の除染

○人口減少への対策  
○協働のまちづくりと公民館運営



千田 恭平 議員

**質問** 市の人口は減少し続けている。重要と思われる結婚対策と空き家対策について伺う。

**答弁** 当市の独身者は男性30代3038人、40代2336人、50代2404人、いずれの年代も全国、岩手県の割合を上回っている。本年度からいちのせき結婚活動サポートセンターを設置し、婚活イベントや研修会の開催を通じて出会いの場を提供している。また、縁結び支援員により結婚相談や出会いの仲介を行っており、この仲介で結婚が成立してから祝い金を支給する事業もある。

が、約2300件の情報が寄せられ、この情報をもとに、現在までに700件ほどの現地確認調査を行った。今後空き家バンクへの登録も促してまいりたい。

**協働のまちづくりと公民館運営**  
**質問** 協働のまちづくりの現状は。またこれを担う地域協働体の組織化にどう動いているか。  
**答弁** この協働のまちづくりを本当に地域に根づかせるためには時間がかかることを覚悟し、息の長い取り組みになると、成果を急ぎすぎてはならない。市内31の公民館単位のエリアを基本とした地域協働体の組織づくりを促進している。現在市内には7つの地域協働体が設立されているが、未設立の地域には設立に向けた取り組みを進めている。本年5月に市民による地域協働の仕組みづくりの検討会議を設置し現在議論を行っている。この提言を受けたのちに公民館施設の指定管理や公民館事業の実施方法の方向性、実施時期を定めていく。利用者や地域住民の方々への影響が出ないよう配慮してまいりたい。

○大雨による災害対応  
○主要地方道花泉藤沢線改良計画



阿部 孝志 議員

**砂鉄川・松川地区水害の要因は**  
**質問** 7月に当地方を襲った大雨による災害対応について伺う。平成14年7月の台風6号で東山町は甚大な水害被害を受けた。その後、激甚災害指定を受け堤防改修等、治水対策は万全と言われてきたが、なぜ今回あのような水害が起きたのか理解に苦しむ。樋門・排水ポンプ操作等が適切に行われたのか、排水ポンプ容量が十分検討・計算されて設置されたのか疑問に思う。

**回答** 松川地区の砂鉄川排水処理施設は、岩手県が平成14年度から19年度にかけて整備し、ポンプによる内水排水施設が6施設、手動開閉式樋門が12施設あり、いずれも市が県から委託を受け維持管理と操作業務を行っている。今回の松川地区の水害は、砂鉄川流域に非常に強い雨が短時間で降ったことで住宅密集地などが一気に浸水し、道路冠水・土砂崩れ・家屋等への浸水が多発した。過去に経験のない砂鉄川の急激な水位上昇や道

路冠水により、水門操作や排水作業等の水防活動が十分できない中で、砂鉄川が越水したことにより被害が一層甚大になったと考える。

**花泉藤沢線の改良計画は**  
**質問** 主要地方道花泉藤沢線は、花泉から藤沢・千厩及び気仙沼方面を結ぶ交通量も多い重要路線である。北上橋の老朽化、狭隘対策・日形急カーブ改良と割山急勾配解消及び老松宿集落から佐野屋敷間に歩道が設置されていない箇所が多く、通学や高齢者の方が非常に危険な状況にさらされている現状だ。当該路線の拡幅計画と歩道設置計画について伺う。

**回答** 北上川橋拡幅整備及び歩道設置・割山地区の急カーブ急勾配の抜本的改良整備・藤沢町内の拡幅整備と佐野屋敷地内の歩道整備等これまで県に対し要望している。県からは、早期事業化は難しいとの回答であるが、交通ネットワーク上も重要な役割を担う路線であり、今後とも早期事業化に向けて粘り強く要望したいと考えている。

○林業の振興策について  
○道路と下水道の整備について  
○廃校となった校舎の活用策について



沼倉 憲二 議員

**林業振興の取り組みは**  
**質問** 伐期を迎えた杉の価格が低迷し、厳しい森林経営となっているが振興策は。

**答弁** 林道整備や間伐を推進し、市の施設は地元産木材利用による整備に努めている。

**温暖化を防ぐ森林の環境浄化機能を生かす取り組みは**  
**答弁** 森林整備で吸収される二酸化炭素の量をクレジットとして買い手を見つけて売却し収入を得る国の制度がある。買い手確保が難しい状況であるが森林関係者への情報の提供等を図り、活用を推進したい。

**道路整備の基本的な考えと今後の整備方針は**  
**質問** 広域ネットワーク道路と生活関連道路の整備方針は。

**答弁** 広域の道路は国や県に要望し整備を進めている。生活関連道路は、支所ごとに計画を定め整備を進めている。

**花泉藤沢線北上川橋や藤沢津谷川線の整備計画は**  
**答弁** 岩手県に整備を要望しているが早期の事業化は難しいと

の回答である。今後とも整備を要望していきたい。

**藤沢地域のメイン道路の市道新沼増沢線の整備計画は**  
**答弁** 26年度までの3カ年で整備する計画である。

**下水道整備の具体的な推進策は**  
**質問** 地域を対象とした下水道整備と浄化槽の排水の放流は。  
**答弁** 地域の特性と事業費等を考慮し整備を進めている。排水は道路管理者の許可を受け側溝への放流が可能である。

**藤沢の町地区の整備は**  
**答弁** 26年度に調査を行い、その後に処理計画を策定し整備を進めたい。

**廃校となった学校の活用策は**  
**質問** 資産としての位置づけと地域が活用する場合の支援策は。  
**答弁** 固定資産であるが地域振興のための活用が望ましいことからすぐに売却可能資産とはしていない。廃校となった校舎を活用して、地域づくりの事業を行う場合は、市の独自事業のいちのせき元気な地域づくり事業を活用できる。各支所では支所長が決定し事業を実施する。

○薄衣堤防改修の見通しについて



海野 正之 議員

**薄衣堤防改修の見通しは**  
**質問** 川崎地域における治水上の課題は、北上川狭隘地域対策、千厩川内水対策とこの薄衣堤防の一部の堤防の高さや通称やせ堤の幅員確保等の改修であり、今回、薄衣堤防改修が実施されることになった。

北上川の増水時に水がしみ出し危険な状況であったが、住民安全確保と不安解消が図られ大変期待している。この改修計画の必要性と改修計画の内容及び実施上の課題について伺う。特に、家屋移転対象の方々の移転期間確保に配慮されるべきであるが。

**答弁** 薄衣堤防改修は、川崎町中心部の住宅密集地で、本来必要な高さ、断面が足りず、決壊した場合には甚大な被害が想定され、早急な改修を要望してきたが、平成24年度補正予算で実施となった。改修内容は、北上大橋の上流左岸約150メートルの堤防を約2メートル高上げし、盛土で堤防の厚みを増やし補強するもの。



薄衣堤防

伴う生活用道路の配置で、家屋移転が増える可能性もある。課題としては、平成24年度補正予算を平成25年度に繰越して実施するもので、25年度中に工事を完了させなければならず、大変厳しいスケジュールで、住民説明会や測量設計業務進捗と合わせて、移転される方への補償手続等も必要となり、市としても移転対象者の意向を十分尊重し、国との調整を図っていく。また、移転対象者に早期の説明を行い、理解が得られるよう努めることや状況に応じて工事内容、スケジュールを適切に見直すよう、国との調整を図ってきたい。



○国保制度の改善と自治体責任



藤野 秋男 議員

国保制度に対する自治体責任は国民健康保険法の第1条では、国保制度を社会保障及び国民保健の向上と位置づけている。ところが、市は健全な運営のみを重視し3月議会で引上げを行った。国保世帯の多くは無職や高齢者の方など、低所得者であるため国保税の滞納額は既に9億円を超える。今回の引上げは、関係市民にとっては、耐え難い負担となってくる。市長は、税として徴収する以上は、所得に占める国保税の割合を何%以内が適正と判断しているのか。低所得者であっても、安心して納められる税額に変えることこそ本来市長の仕事ではないか。

国保制度は、社会保障制度のうち社会保険に位置づけられ、その仕組みを維持していくため、相互扶助の精神のもと、協力し合っていくことが何よりも大切である。国保は、他の医療保険に属さない全ての方々が被保険者となることから、平均所得で割った保険料負担率は全国平均で9.7%であり、協会けんぽ7.2%、公務員が加入している共济組合4.9%と比べても、その負担が軽いとは言えないと認識している。しかし、国保税軽減のために一般会計からの繰り入れは、他保険加入者の理解が必要である。また、完納している方との公平性の観点も重要な判断となる。

国保税減免制度の見直しは、国保税に対する減免制度がほとんど活用されていない制度となっている。市長は、6月議会において、検討したい旨の答弁をしているがどのように検討したのか。

国保の減免については、平成23年度、24年度とも2件に対応した。制度については、平成25年度において一部減免基準の見直しを行った。改正後は、前年所得からの減少割合を50%以上から30%以上に拡充した。収入見込みが生活保護基準以下となる場合は、所得割額を全額免除とした。また、生活保護基準を超え、基準の1.2倍以内の場合には、減少割合に応じて所得割額を減免することとした。

国保制度は、社会保障制度のうち社会保険に位置づけられ、その仕組みを維持していくため、相互扶助の精神のもと、協力し合っていくことが何よりも大切である。国保は、他の医療保険に属さない全ての方々が被保険者となることから、平均所得で割った保険料負担率は全国平均で9.7%であり、協会けんぽ7.2%、公務員が加入している共济組合4.9%と比べても、その負担が軽いとは言えないと認識している。しかし、国保税軽減のために一般会計からの繰り入れは、他保険加入者の理解が必要である。また、完納している方との公平性の観点も重要な判断となる。

○市道、県道若柳花泉線の道路維持管理について  
○一関市の雇用状況について



菅原 巧 議員

市道、県道若柳花泉線の道路維持管理について

市道の長寿命化計画も含め現在の点検管理の状況はどのようなになっているのかを伺いたい。

通常の道路パトロールによる路面の点検に加え、橋梁については、橋の長さ15メートル以上331橋の橋梁点検を踏まえ、平成23年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき維持管理を実施している。橋の長さが15メートル未満の橋梁については現在点検を実施している、その点検結果や日常の維持管理結果を踏まえ修繕計画を更新しながら維持管理の適正化を図っていききたい。

県道若柳・花泉線は毎年草で歩行に不便をきたしているとの市民の声を聞くが歩道管理について伺いたい。

県道若柳花泉線について道路管理者である県南広域振興局土木センターに確認したところ、今年度は7月下旬に除草をしたとのこと。今後は歩行者に不便をかけない

一関市の雇用状況について

今年高校を卒業する高校生の就職率について伺いたい。

新規高卒者の就職状況は二年連続して就職率100%達成した。地元就職率の向上については市内の経済団体への要請活動において早期の求人票提出を促すなど、地元企業が採用活動の面で遅れを取らないよう協力していく。

当市で働く労働者の正規、非正規の割合について伺いたい。

平成22年の国勢調査の数字であるが派遣社員、パート・アルバイト・その他の雇用者の割合は当市では30.9%になっている。

正規、非正規社員の年間所得について一関市の状況を伺いたい。

総務省で実施した平成24年就業構造基本調査によると正規職員の県南広域振興局管内では200万円未満21.7%になり非正規社員は200万円以下81.8%になっている。

○水害被害における要因と検証いかに



佐藤 雅子 議員

東山地域における水害の要因と検証は、7月26日に発生した東山地域被害の要因と検証状況を伺う。

松川地区の水害は、過去に経験したことのないような砂鉄川の急激な水位の上昇や、道路の通行止めにより水門操作ができない状況の中で堤防を越えて地区内に流れ込み、被害が一層甚大になった。これを踏まえ8月5日河川管理者である岩手県に対し、堤防越水や内水被害の要因について速やかに調査検証を行うよう緊急要望をし、併せて恒久的抜本的な治水対策を講じるほか土砂や流木等が堆積して河床が上昇し危険性の高まっている箇所や河川機能の回復などについて早急に対応されるよう要望した。

市が管理している河川、水路についても、緊急的な対応が必要な箇所についても現場を精査し県の治水対策との連携を図りながら適切な対策を講じていく。

被害者に対する高齢者弱者への支援対策は、

8月3日国土交通大臣政務官を団長とした政府調査団が当市を訪れた際、恒久的抜本的な治水対策の実施、激甚災害の指定の要請及び復旧にかかわる補助事業の創設等緊急要望を実施した結果8月15日内閣府より激甚災害に指定された旨の通知があった。

8月3日国土交通大臣政務官を団長とした政府調査団が当市を訪れた際、恒久的抜本的な治水対策の実施、激甚災害の指定の要請及び復旧にかかわる補助事業の創設等緊急要望を実施した結果8月15日内閣府より激甚災害に指定された旨の通知があった。

○国際リニアコライダー（ILC）について



牧野茂太郎 議員

ILC国内候補地今日決まる！

ILCの国内候補地が北山山地に決定。勝部市長は県職時代から追い求めてきたILC。100回以上の講演会で解り易く説明を頂き市民の誰もがILCを知る事となり今日の候補地決定は、今後の一関市の未来に夢と希望を託したいと心から願うものである。これからの一関市をどう導こうとし、市民はどう向き合えば良いのか。小学一年生からの英語教育の考えは、またJR大船渡線とILCを結びつけた文化交流の路線とありえる方策は。

本日9時30分、東京大学においてILC立地評価に関する記者会見が行われた。内容は、ILC評価会議は技術的及び社会環境の観点から評価を行い全会一致で国内候補地は北上サイトを最適と評価する。なお、北上サイトにおける中央キャンパスは仙台・東京へのアクセス利便性を有し、研究、生活環境に優れた新幹線沿線の立地を強く推奨すること。ILCは、世界に1カ所だけ建設される超大型の国際プロジェクト。

これを一関市の発展の骨格と位置づけて推進。さらに岩手県南、宮城県北の中東北の発展の柱とし、教育、福祉、農業を含むあらゆる産業分野においても生活者の視点に立ったソフト重視の政策展開を図っていくべきである。ハード面ではILCの建設開始から稼動するまで10年はかかる。地元自治体としての役割分担は、今後国際研究機関が設立され、その中で地元自治体としての部分に関わっていくのか決まるのではないかと。



水害により家庭から搬出された家財

市の災害見舞金給付要綱に基づき、1世帯当たり全壊で3万円、床上浸水で1万5千円の見舞金を給付する。

国、県への長期的な対応と早期激甚災害指定に向けた取り組みは。

学校教育という以外でも英語教育の重要性が高まっている。研究所の中は公用語が英語。英語力が強く求められる。地域全体として学校だけでなく英語教育を考えなければならぬ。JR大船渡線に沿った形で衝突点からキャンパスそして一ノ関駅まで連なっているイメージの絵があり、それに沿った形で実現すると大船渡線の利用が増える。評価会議に大船渡線を重要な要素として盛り込んで提出している。それが実を結ぶよう努力していく。

政策形成手順はいかに

期総合計画は、平成28年度に課題を整理しスタートする。平成28年度からの10年間で現時点から模索しなければならぬと考えている。市としては、ILCを受け入れられるまち・人口減少・高齢化に答えを出していかなければならない時期と捉えている。

市民と行政の協働の視点

総合計画後期基本計画は、基本構想に基づいて将来像実現のための施策プログラム・展開方法・推進方策について総合計画審議会、スタッフ会議など市民参画をいただき、意見・提言を踏まえ策定した。

施策の具体的事業計画・予算編成指針とする総合計画実施計画を策定している。

施策の実施は、市民と行政の協働の視点が重要。積極的行政情報の提供・ニーズの的確な把握に努めながら、まちづくりを進めてまいりたい。

○総合計画、後期基本計画の推進について  
○一関市病院事業改革プランについて



須藤 節男 議員

現在の計画は、平成17年、新市建設計画をベース策定してきた。期間は平成27年度。次期期間10年と仮定すれば次

全国10万以上の都市で、当市は、人口減少・少子高齢化が急激に進む。人口の将来見通し及び対策について伺う

人口見通しは、2010年の国勢調査で当市の人口は12・7万人であるが、2030年には、9・6万人、2040年には8・2万人と大幅に減少。高齢化も大幅に進み2030年には高齢化率が40%を超える。

人口減少(少子化・高齢化)について



待たれる少子化対策の拡充強化!!

人口減少の対策としては、若者の雇用環境対策、安心して子供を産み育てる環境整備や新たな人材を受け入れるなどの地域活性化など様々な施策を展開してまいる。人口減少は地域コミュニティの存続の危機と捉え、税金においても平成30年度から減収見込みであることから、行政サービスの在り方を時代に合ったものに変えていく考えである。

特定不妊治療に対する助成の拡充する考えはないか。

部長―当市において、不妊治療の平均的な額は35万円程度であり、県内の市の中では平均的な支援を行っている。市長―人口減少抑制の施策と

金野 盛志 議員



○人口減少(少子化・高齢化)について  
○福島第1原発事故対策について

市内2カ所のゴミ焼却施設の整備の検討について伺う。市長―県においては、広域化の観点から奥州、一関で1カ所の計画であったが、大震災が発生し、セシウムの問題が発生したことなどから、奥州、一関各々のブロックで整備する方針を検討し、10月を目途に基本構想を策定する。

第45回市議会臨時会

議会の構成決定

議長千葉大作氏に

市議会議員選挙後、初の議会となる臨時会が10月15日に招集され、18日までの4日間の会期で開催されました。

初日の15日は、市議会議長の選挙が行われ、千葉大作議員、菅原啓祐議員が所信を述べた後、選挙が行われ、両名とも15票の同数となり、抽選の結果、千葉大作議員が第3代の議長に選出されました。

その後、副議長選挙が行われ、小山雄幸議員が選出されました。さらに、2期目となる勝部市長から所信表明が行われました。

最終日の18日には、

- ① 専決処分報告2件(選挙掲示板破損事故、職員の交通事故(物損))
② 平成25年度一般会計補正予算(農業関係災害対策)
③ 金沢財産区管理委員の選任(千葉昭彦氏他6名)
④ 教育委員会の委員の任命(鈴木功氏、藤堂隆則氏)
⑤ 監査委員の選任(小野寺興輝氏、佐々木清志氏(議会選出))
⑥ 選挙管理委員、同補充員の選挙(上沼清一氏、畠山英一氏、菅原王男氏、及川泰雄氏)
⑦ 特別委員会の設置(議会報編集、治水対策、放射能被害対策)が可決となりました。

所信表明

二期目の勝部市長



「中東北の拠点都市一関の形成」をスローガンに掲げ市政運営に努めてきたところであり、その基礎づくりは概ね順調に推移しているものの放射性物質による汚染対策や高齢化、人口減少社会への対策など、市が直面する課題は山積しております。このため、生活空間における放射線影響の低減に最優先に取り組むとともに高齢化社会に対応した行政サービスのあり方の検討や子育て世代への更なる支援、移住定住施策などを進めて参ります。今後の市政運営にあたっては、国際リニアコライダー計画を「一関発展の骨格」と位置付けて、市民の皆さんとの協働によるまちづくりという視点を基本とし、市民一人ひとりが、まちづくりの当事者としての意識を持って取り組めるよう協働の取り組みを進めて参ります。当市は、中長期的には厳しい財政状況が見込まれていますが、限られた財源を有効活用し、諸課題に正面から向き合い、全てを賭して不退転の決意でやり遂げて参ります。

# 会議出席状況

7～9月までの定例会・常任委員会・特別委員会について出席状況をまとめたものです。数字の入っている項目が、各議員の所属している委員会です。

議員氏名	日本共産党 一関市議団		関 政 会				公 和 会				一 新 会							会 派 に 属 さ ない																
	藤野秋男	岡田ともみ	石山健	菊地善孝	千葉大作	槻山隆	橋本周一	岩淵孝志	阿部孝	木村貴	佐山昭助	勝浦伸行	尾形善美	佐藤雅子	千葉満	小山雄幸	牧野茂太郎	千田恭平	佐藤弘征	武田ユキ子	須藤節男	金野盛志	岩淵善朗	及川文彦	菅原巧	佐々木賢治	佐々木清志	海野正之	千葉幸男	那須茂一郎	及川忠之	沼倉憲二	岩淵優	菅原啓祐
第 44 回 定 例 会	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
決 算 審 査 特 別 委 員 会	4	4	4	4	3	3		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
決算審査特別委員会総務分科会	1				1				1						1					1		1											1	
決算審査特別委員会産経分科会	1			1	1						1	1									1						1							
決算審査特別委員会建設分科会	1						1		1						1	1		1	1								1							
決算審査特別委員会教民分科会	2	2	2					2			2	2									2	2						2	2					
産 業 経 済 常 任 委 員 会	1		1		1	1					1	1								1				0		1			1					
教 育 民 生 常 任 委 員 会	2	2	2					2			2	2									2	2						2	2					
議 会 報 編 集 特 別 委 員 会	2		2				2	1		2							2		2														2	
治 水 対 策 特 別 委 員 会	1		1					1	1	1	1						1	1	1					1		1	1	1	1	1	1	1	1	
災 害 対 策 特 別 委 員 会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
緊 急 雇 用 特 別 委 員 会	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

平成25年度

# 市民と議員の懇談会 を開催します

一関市議会では、今年度も下記の19会場で『市民と議員の懇談会』を開催いたします。議会から議員が各地域にお伺いをして、議会報告や、議会、市政等について、市民の皆様方と率直な意見交換ができればと願っております。今回は市議会議員選挙のため、冬期の開催となりましたが、その日程を、土・日曜日の昼に開催することとしました。多くの皆様のご参加をお待ちいたしておりますので、お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

地域	会 場 名	所 在 地	地域	会 場 名	所 在 地
一関	な の は な プ ラ ザ	大町4-29	大東	猿 沢 公 民 館	大東町猿沢字板倉57-1
	山 目 公 民 館	青葉2丁目4-5		渋 民 公 民 館	大東町渋民字小林29-4
	中 里 公 民 館	山目町2丁目1-19		曾 慶 公 民 館	大東町曾慶字神蔭32-1
	一関自然休養村管理センター	巖美町字冲野々116-6	千厩	小 梨 公 民 館	千厩町小梨字堂ヶ崎30-5
	萩 荘 公 民 館	萩荘字打ノ目124		磐 清 水 文 化 セ ン タ ー	千厩町磐清水字蒲沢75-3
	一 関 文 化 伝 承 館	舞川字中里84-1	東山	松 川 公 民 館	東山町松川字町裏ノ上8-2
	弥 栄 公 民 館	弥栄字茄子沢198-3	室根	ひこばえの森交流センター	室根町矢越字山古沢94-7
花泉	花 泉 公 民 館	花泉町花泉字天王沢沖109-1	川崎	川崎農村研修センター	川崎町門崎字清水沖31-1
	日 形 公 民 館	花泉町日形字井戸沢38-2	藤沢	藤 沢 公 民 館	藤沢町藤沢字仁郷12-5
				藤 沢 公 民 館 黄 海 分 館	藤沢町黄海字町裏54-1

## 開催日

1月25日(土)、26日(日)、  
2月1日(土)、2日(日)

13時30分～15時30分

※会場ごとの開催日及び出席議員については1月中旬にチラシにてお知らせします。



平成24年度市民と議員の懇談会（舞川）

### ● 議会を傍聴しませんか ●

- 議会の詳しい日程などは議会事務局へお問い合わせください。
- 一関ケーブルネットワーク中継、インターネット中継、FM あすもでは一般質問を録音放送しています。
- 傍聴席は60席です。車椅子での傍聴席、また、聴覚補助するためのヘッドホンも用意しております。



○9月定例会の傍聴者数19人 10月臨時会の傍聴者数5人

### ● ご意見・ご感想をお寄せください ●

議会だよりを読んで感じたことや議会についてのご意見などをお待ちしています。また、議会だよりは市のホームページで、ご覧いただくことができます。

〒021-8501 一関市竹山町7番2号 議会事務局  
TEL 21-8604 FAX 26-5556

ホームページアドレス <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/7,0,88,html>  
議会メールアドレス [gikai@city.ichinoseki.iwate.jp](mailto:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp)

### 議会だより第33号の訂正について

5ページ 人権擁護委員に推薦された中村長雄さんの読みに誤りがありました。正しくは「なかむらちようゆう」でした。訂正し、お詫びを申し上げます。

# 市民の声

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

## 子育ての 環境整備を期待



小野寺民江さん  
千厩町・主婦

今、千厩町では、地域の5校の小学校の統合について話し合いが行われています。小学校で3校が複式学級となり、今後、ますます少子化が進みます。

子どもたちの教育環境を第一に考えた施策が重要と考えます。

特にも、通学路の整備、歩道や防犯灯の整備で、安全安心な環境整備を期待します。

さらに、スクールバスでの登下校となれば、友達同士で遊ぶことが限定されます。

親子、友達同士で遊び、遊べる多目的な施設の開放や整備を今回の教育環境の整備と併せて期待致します。子育てが楽しくなるような街づくりを念頭に考えてほしいと思います。

## どうすれば地域の 活力が戻り、住みやすく できるだろうか



小山 邦彦さん  
室根町・農業

私は釘子地域に住んでおりますが、市町村合併のあと、小学校、保育園や警察の駐在所がなくなり、郵便局や農協支店などの金融機関も移転や廃止され、公共的機関が全てなくなりました。生活の不便がさらに居住者の減少を加速しないか心配しています。

これから、若い方々が子育てし易い環境を整え、地域のみなが「どうすれば地域に活力が戻り、住みやすくなるか」を考え、行動することが必要だと思います。

子供の声がこだまする、住みやすい地域にするため、市役所本庁舎から遠く離れた地域の声にも耳を傾け、これらの意欲を汲んだ行政運営を期待します。

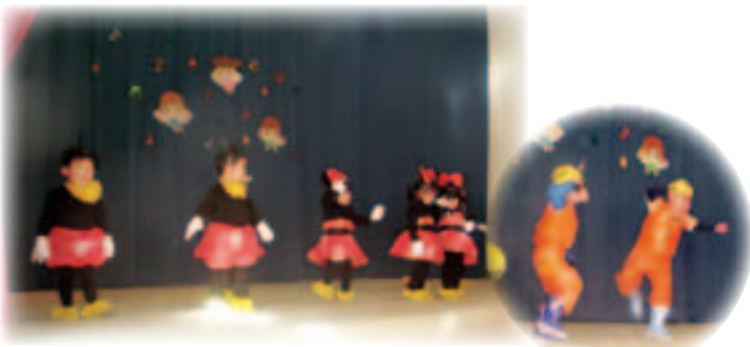
## 【表紙解説】 生活発表会

ひよこ組の皆さんにとっ  
ては初めてのおゆうぎ会  
です。

大勢のお客さんに、少し  
緊張して保育士さんに寄り  
添っています。

好奇心旺盛な、輝く瞳の  
面々は、保育園の主役とし  
て躍り出る日も近いでしょ  
う。

(一関市立大原保育園)



## あとがき

この度の一関市議会議員  
選挙改選に当たり、新たに  
30人の議員が誕生し、ま  
た、議会報編集特別委員  
会も新体制でスタートしま  
した。今回は市議会議員選  
挙のため、9月定例会及び  
臨時会の記事となり、発行  
が遅くなりましたことをお詫  
び申し上げます。

これまで市議会だよりに  
対して、市民の皆様より多  
くのご意見ご助言をいた  
いてまいりました。

今後も、皆様に関心をも  
って読んでいただけると  
う、より充実した議会報  
づくりにと、編集委員一同  
心を一つにして取り組む決  
意でありますので、どうぞ  
よろしく願います。

議会報編集委員長

橋本 周一

## 議会報編集委員

委員長	橋本周一
副委員長	千葉信吉
委員	菅野恒信
委員	小岩寿一
委員	那須茂一郎
委員	佐藤盛浩
委員	金野盛志
委員	千葉満

印刷／内藤印刷(有)



この印刷物は環境にやさしい植物系インクを使用しています。再生紙を使用しています。

発行／岩手県一関市議会  
電話／0191-21-8604

住所／一関市竹山町7番2号  
FAX／0191-26-5556

編集／一関市議会報編集特別委員会  
E-mail:gikai@city.ichinoseki.iwate.jp